

請願・陳情審査

今回は2件の陳情が出され、
委員会審査はどちらも総務産業常任委員会でした



本会議
9/3

委員会
9/10

本会議
9/21

総務産業常任委員会へ付託

委員会で陳情審査

委員長が審査報告後、採決

この日の審査で、各陳情について「採択」か「不採択」かを委員会で決定し、本会議で委員長が報告します。

陳情名	申請者	常任委員会 審査結果	本会議 採決結果
「沖縄本島南部からの埋め立て用土土砂採取計画」の断念を国に要請する陳情	星 功 他 12 名	不採択	不採択 不採択に賛成 11・反対 1
防災ラジオ（屋内受信機）設置計画に関する陳情書	「大秋津集落防災ラジオ設置を考える会」薄井 一郎 他 15 名	不採択	不採択 不採択に賛成 11・反対 1

ピックアップ

○陳情概要

1945年の沖縄戦で亡くなった7万余の日本兵の中には、栃木から派兵された696名が含まれており、今でも遺骨の発掘が進められている。沖縄本島南部からの遺骨を含んだ土を辺野古米軍新基地建設のための埋め立てに使うことは人道上からも許されることではなく、那須町議会として国に意見書を提出することを求める。

○委員会審査結果に対する討論内容（抜粋）

9月10日
委員会

この陳情に対して委員会を開催しましたが**不採択**となりました。

陳情に賛成できないが、委員会の中で辺野古に限らず遺骨等を含んだ土を埋め立てに使用することは、人道上許されないのでは意見書提出をするべきではないかと話し合いも行われ、町議会として意見書をまとめ9月21日の本会議にて議員案として提出することになりました。

9月21日
本会議

①委員長が不採択の報告

②反対者と賛成者で討論

【不採択に反対】

陳情の要請は人道上の問題として極めて妥当と考える。常任委員会の審議の中では、陳情の文言の解釈でいくつかの意見が出たが、陳情の趣旨に差し障るものではないと考える。

【不採択に賛成】

沖縄本島南部からだけでなく、遺骨を含んだ土砂を埋め立てに使用することは反対だが、政府及び防衛省担当者は土砂の調達先はまだ決めておらず、遺骨の問題は大変重要であり今後しっかり検討していきたいと述べている。そのような状況を鑑み不採択に賛成する。

③不採択に賛成 11 人、反対 1 人で**不採択**で可決となりました。

※意見書は
QRコードから

陳情について不採択とはなりましたが「沖縄県沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立て等に使用しないよう求める意見書」は全員賛成で国に提出することを決定しました。



※陳情の概要、討論等、抜粋になります